

自動タイプ

ガス風呂給湯器

31-505型

——— 本社ガスビルサービスセンター 支社所在地および電話番号 ———

大阪支社 ☎550	大阪市西区千代崎3丁目2番95号	☎大阪 06(586)3200
南部支社 ☎590	堺市住吉横町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北部支社 ☎568	高槻市藤の里町39-6	☎高槻 0726(71)0361
東部支社 ☎578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
兵庫支社 ☎650	神戸市中央区東川崎町1丁目8番2号	☎神戸 078(360)3100
京都支社 ☎600	京都市下京区中堂寺栗田町4番地	☎京都 075(311)7381
奈良支社 ☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社 ☎640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社 ☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
豊岡支社 ☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 0796(23)2221
滋賀支社 ☎525	草津市湯分町荒畑680の1	☎草津 0775(62)5311
滋賀東支社 ☎522	彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22)3131
(脚立センター) ☎526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター ☎541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大阪 06(262)2221

大阪ガス株式会社

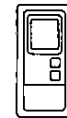
「おねがい」

ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

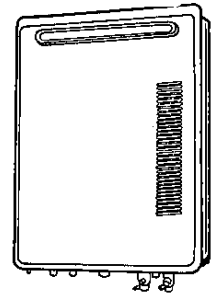
〈BL認定品〉 型式名 GT-164SAWS
NR-GT-164SAWS



(リモコン)



(メインリモコン)



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

大阪ガス

特長・機能の紹介

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器をお求めいただき、ありがとうございました。

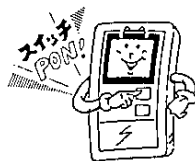
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

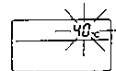
●ごあいさつ・もくじ	1
●特長・機能の紹介	2
●必ずお守りください	4
●各部の名まえと扱い方	8
●初めてお使いいただくときは	13
●使用方法	14
●凍結予防方法	25
●点検・お手入れ	28
●故障かな？と思ったら	30
●仕様	33
●寸法図	34
●保管とアフターサービス	36

1 スイッチポンで風呂が沸かせます。

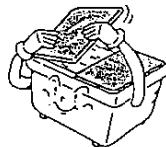
……17ページをごらんください。



2 お風呂の温度がひと目でわかるデジタル表示になりました。

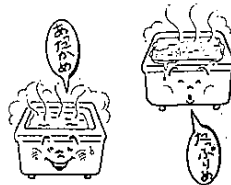


3 ふたをしたまま自動お湯張りができます。



4 気分にあわせてちょっと「あったかめ」「たっぷりめ」のお風呂が楽しめます。

……「あったかめ」…23ページ
「たっぷりめ」…24ページ

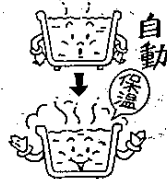


5 自動運転後、(自動お湯張りスイッチを入れてから4時間以内なら) お湯が冷めれば自動で保温、いつも快適なお風呂に入れます。

……17ページをごらんください。

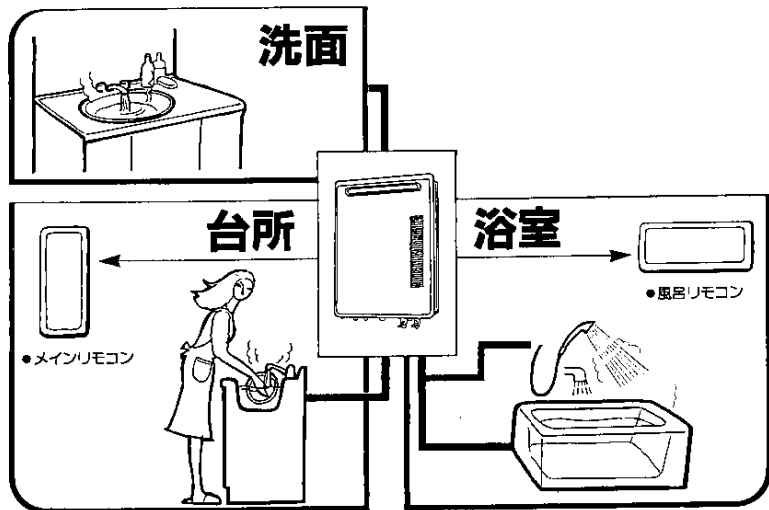
追い焚きの場合も、ふろ保温スイッチで同様に4時間自動保温します。

……21ページをごらんください。



★給湯のしかた！

- ①運転スイッチ「入」
- ②給湯湯温の設定
- ③給湯せん（蛇口）を開ける



★お風呂の沸かしかた（2通りあります）

自動で沸かす場合

- ①浴そうの排水栓の確認
- ②運転スイッチ「入」
- ③「お湯張り量」の設定
お風呂湯温
- ④自動お湯張りスイッチ「入」
- ⑤自動お湯張り停止
- ⑥沸き上がり自動停止
- ⑦4時間保温
(自動お湯張りスイッチを入れてから)

追い焚きの場合

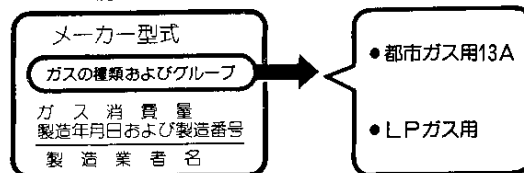
- ①水(残り水・残り湯)の確認
- ②運転スイッチ「入」
- ③お風呂保温スイッチ「入」
- ④沸き上がり自動停止
- ⑤4時間保温
(お風呂保温スイッチを入れてから)

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の正面にはついている銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

（銘板）



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

- 電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V・60ヘルツ用です。お宅の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●用途についてのご注意

- 給湯・シャワー及び風呂のお湯はり・追いだし以外の用途には使用しないでください。

●器具設置についてのご注意

- 器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ずお守りください

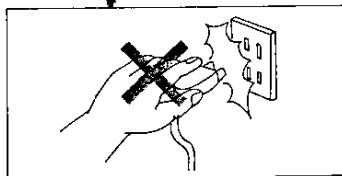
●使用上のご注意

ガス漏れ予防

- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのにおいや、不快なおいがないかとときどき確かめてください。

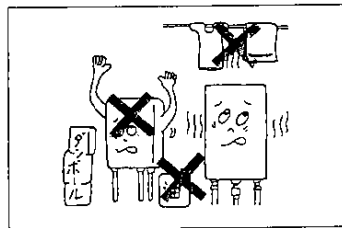
ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。
〔絶対に使用しないでください〕
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電煮プラグの抜き差しなど、しないでください。



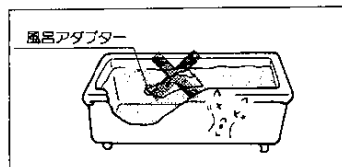
火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせしないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。



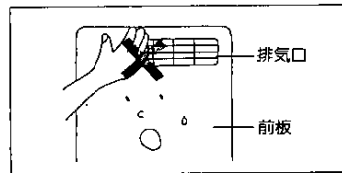
空だき防止

- 浴槽の排水せんが確実に閉まっていることを確かめてください。
- 浴槽の風呂アダプターをタオル等でふさぎますと循環不良となり、器具の故障の原因となる場合があります。



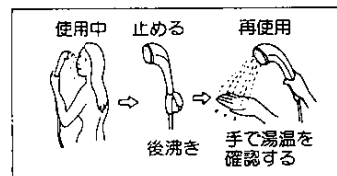
やけど等のご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。



必ずお守りください

- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。
- お風呂にご入浴の際はあらかじめ、手で湯温を確認してご入浴願います。



凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。凍結のおそれのある期間は25ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

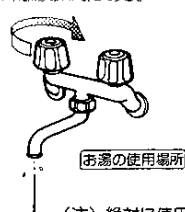
凍結したとき

- ①凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ②再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、14ページ「使用方法」の項以下の操作を行なってください。
- ③器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。（保証期間内でも有料です）

異常時の処置

- 異常燃焼、臭気、異常音などを感じたときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い求めの販売店またはお近くの大阪ガス支社に連絡してください。

①給湯せんをしめる。

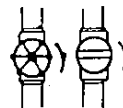


（注）絶対に使用しないでください。

②運転スイッチを「切」にする。
（又は電源プラグをコンセントから抜く）



③給水元せん・ガス元せんをしめる。

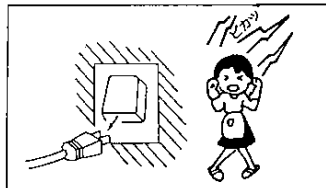


必ずお守りください

各部の名まえと扱いかた

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください)
- 雷が過ぎかかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
(P13参照願います)



日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは28ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

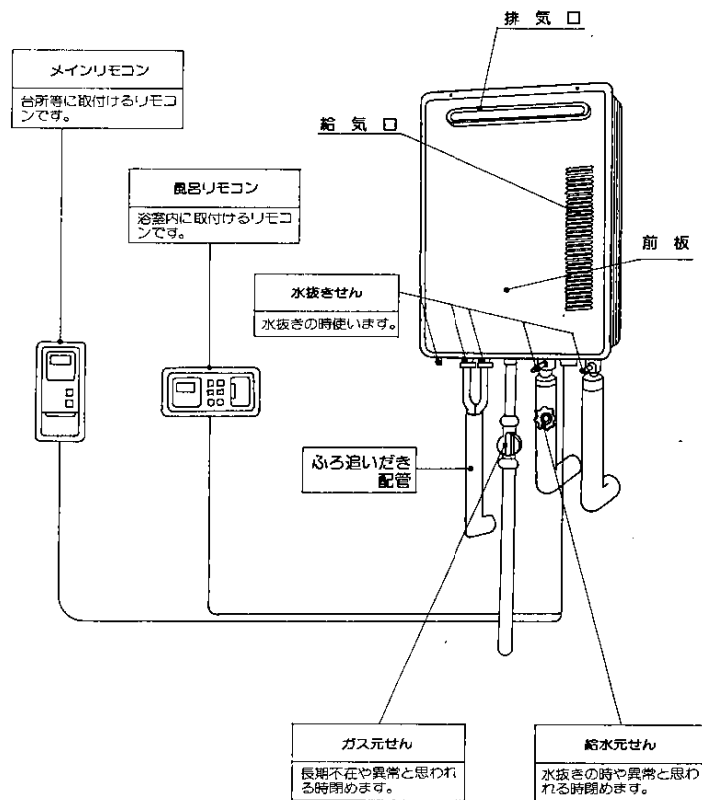
入浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫酸、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は熱交換器が腐食したり駆動部を摩耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

飲用にお使いのとき

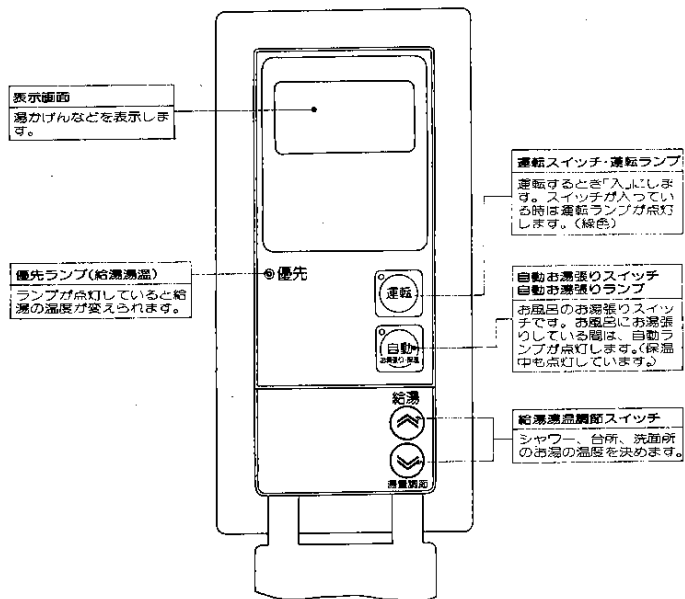
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

●器具本体



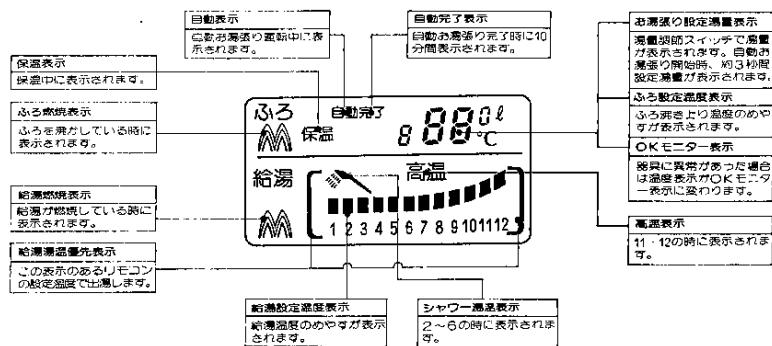
各部の名まえと扱いかた

●メインリモコン (台所などに取り付けるリモコン)



各部の名まえと扱いかた

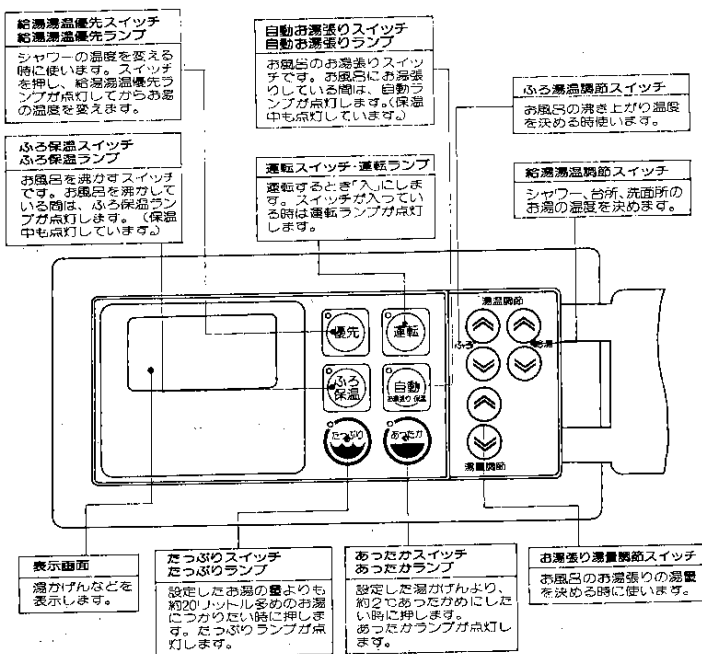
《画面表示》



(注)上記画面表示は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転のときは該当部分が表示されます。
OKモニター表示に切替った場合は、P31を参照願います。

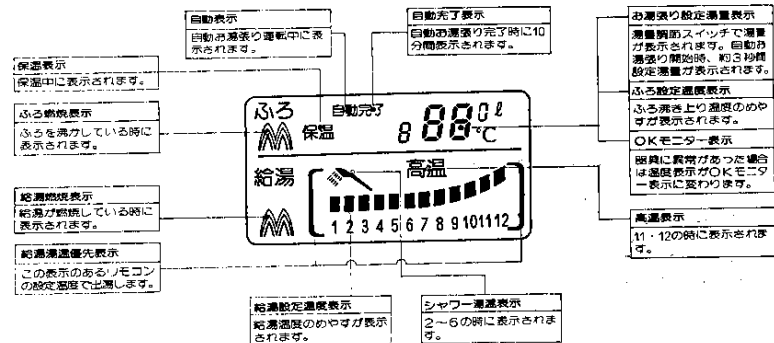
各部の名まえと扱いかた

●風呂リモコン 〈お風呂に取り付ける風呂リモコン〉



各部の名まえと扱いかた

《画面表示》

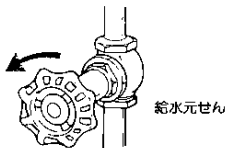


(注)上記画面表示は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転のときは該当部分が表示されます。
OKモニター表示に切替った場合は、P31を参照願います。

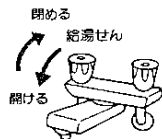
初めてお使いいただくときは…

使用方法・給湯・シャワー

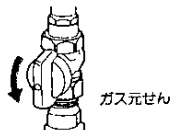
1 給水元せんを全開にします



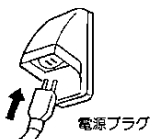
2 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます



3 ガス元せんを全開にします

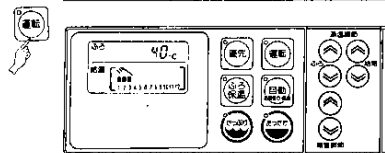


4 電源プラグをコンセントに差し込みます



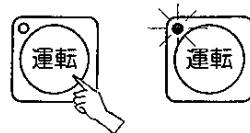
5 「運転」スイッチを押し「入」状態にします

- 運転ランプが点灯します。
- 電源投入時は、表示画面が図のようになります。



1 運転ランプが点灯していることを確かめます

- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して「運転」状態にします。



2 給湯温度調節スイッチを押して温度を調節します

- 電源投入時は目盛「3」になります。
- 給湯温度優先ランプが点灯します。
- 右図のように、風呂リモコンの画面に()マークがつかます。()マークが出ていることを確かめます。
- 給湯温度優先ランプが点灯していない場合は、給湯温度優先スイッチを押して、給湯温度優先ランプの点灯を確かめます。



★メインリモコンでも、器具から出るお湯の温度を変えられますが、その場合は、給湯温度優先ランプの点灯を確かめてください。
給湯温度優先ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを一度切り、再び運転スイッチを押してから、調節を設定してください。
(ほかの場所でお湯を使っている場合は変更しないでください。)

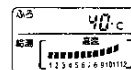
●給湯湯温優先について

★メインリモコンと風呂リモコンで温度設定が異なっていると、どちらのリモコンで運転スイッチを入れるかによって出てくるお湯の温度が変わります。

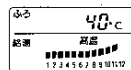
たとえば

1. メインリモコンで目盛「11」に設定するとリモコンの画面は右のようになり、約60°Cのお湯が出てきます。

(メインリモコン)
湯温調節



(風呂リモコン)



優先スイッチを押すと



2. 次に、風呂リモコンで目盛「5」に設定すると、画面は右のようになります。約42°Cのお湯が出てきます。

(メインリモコン)



(風呂リモコン)
湯温調節



3. この状態で運転スイッチを「切」にして、次にご使用になる時

4. メインリモコンの運転スイッチを「入」にした場合の給湯温度は



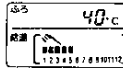
(メインリモコン)



風呂リモコンの運転スイッチを「入」にした場合の給湯温度は



(風呂リモコン)



注意!

- この場合、シャワーを浴びると危険です。
- 75℃に設定されていた場合は、強制的に60℃に切り替わります。

- 運転スイッチ「切」でも元の目標を記憶しています。

- 温度の調節は1～12まで一度押すと一段階づつ表示がでます。1から⊖ボタンを押し続ける と連続して6(約43℃)まで変化しますが、7(約44℃)以上に上げる場合は、1度スイッチより手を離して、再度⊖ボタンを押してください。

- 給湯設定温度表示と目安温度の関係は以下の通りです。

表 示	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目安温度(℃)	38	39	40	41	42	43	44	45	46	50	60	75

- ★シャワーの温度はこのスイッチで決まります。リモコンの表示画面の「給湯」側に、設定した温度が表示されます。シャワー運転開始時、2(約39℃)～6(約43℃)には「M」マークが出ます。

注意!

- 11(約60℃)、12(約75℃)の時は「高温」という文字が点滅して注意を促します。
[シャワー使用中湯温を変えるとやけど等、]非常に危険です。

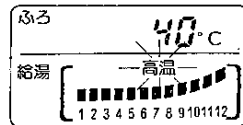
湯温調節



給湯

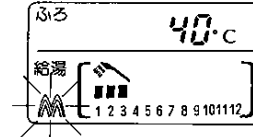


ぬる<



3 給湯せんを開けます

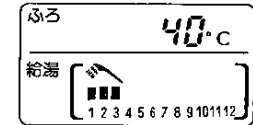
- 画面の給湯部に (M) が表示され、図で設定された温度のお湯が出ます。



- 使い始めは給湯配管内の水が流れ出すまでしばらくお湯が出ません。
- お湯を複数個所で多量に同時に使用されるとぬるくったり湯量が少なくなることがあります。
- ご使用後すぐに、再度お使いになるときは湯温が不安定になることがあります。シャワーで使用される時は手で湯温を確かめてからご使用ください。

4 給湯せんを閉めます

- バーナが消火し、画面の給湯部の (M) が消えます。



- ※運転スイッチ「切」でも元の温度を記憶しています。

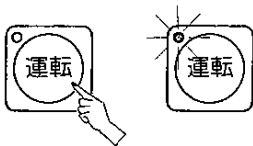
ご注意

- 自動お湯はり運転中に給湯を使用すると、温度は自動お湯はり温度になります。また、水圧などにより出湯量が少なくなる場合があります。
- 30分間以上の停電または電源プラグを抜き差ししたあとは温度設定は目標「3」に戻ります。

使用方法・風呂自動運転

- 浴槽の排水せんを閉じてください。
- 浴槽にフタをしてください。

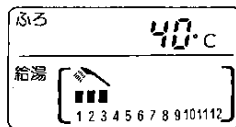
1 運転ランプが点灯していることを確かめます



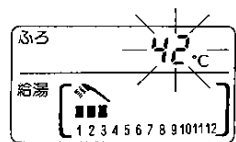
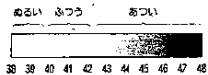
●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して「運転」状態にします。

2 風呂リモコンで お風呂の沸き上がり温度を設定します

- 右図が表示されます。電源投入時は、40℃に設定されています。
- 風呂リモコンのふたを開けて、図のように「ふる」と書いてあるほうの湯温調節スイッチでお好みの沸き上がり温度を決めます。
- 設定温度は38℃～48℃の1℃さざみで一歩押すと、1℃ずつ変化します。押し続けると連続で表示が変わります。(温度表示は目安です)
- リモコンの表示画面の「ふる」側に、設定した温度が表示されます。



お好みの温度には個人差があります。
この表はだいたいの目安です。

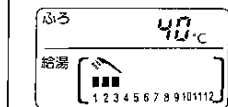


- 運転スイッチ「切」でも元の温度を記憶しています。
- ★30分以上の停電後または電源プラグを抜き差ししたあとは設定温度が自動的に40℃に戻ります。再度セットしなおしてください。

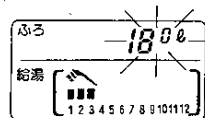
使用方法・風呂自動運転

3 お湯はり湯量を設定します

電源投入時の状態



通常は風呂の設定温度が表示されます。(上図の場合は40℃)



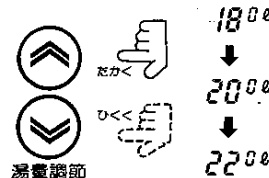
- 湯量調節スイッチを押すと最初 180ℓ が表示されます。
(約3秒間表示した後、風呂の設定温度にもどります。)

●風呂リモコンのふたを開けてお湯張り湯量調節スイッチでお湯張りの量を決めます。

●湯量設定は40～280ℓまでは20ℓさざみでの他は300ℓ・350ℓ・400ℓで変化します。
(990ℓの表示の場合は、連続お湯張りでストップしません。プザーは鳴りません)

●設定した湯量を確認したい場合はお湯張りの湯量調節スイッチを押すと約3秒間表示され、確認ができます。

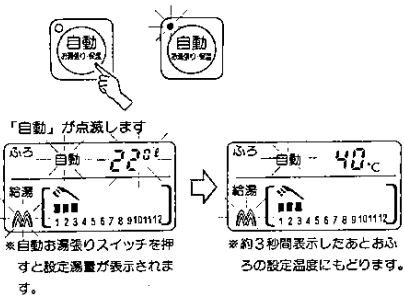
- ★運転スイッチ「切」でも元の温度と湯量を記憶しています。
- ★停電後は自動的に180ℓに戻ります。再度セットしなおしてください。



4 自動スイッチを押します

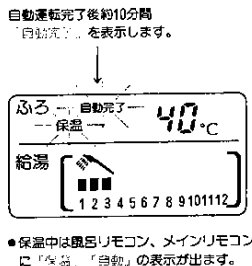
(メインリモコンでも操作できます。)

- 自動お湯張りスイッチのランプが点灯します。
- しばらくして、お風呂の浴そう金具からお湯が出ます。(このお湯の温度はお風呂の沸き上がり温度の設定温度で出ます。)
- お風呂へのお湯張りの途中は、右図の表示がされます。
- お風呂の湯量はあらかじめ180ℓに設定されています。これは、1.5人浴そうに一人て入るのにちょうど良い量です。



5 お風呂が沸くと自動でストップします

- 表示された温度にお風呂が沸き上がると、約10秒間メインリモコンのブザーでお知らせし、そのあと自動的に保温を行います。
- 沸き上がった後、右図の表示がされます。



6 お湯の温度が下がったら、自動であたためます

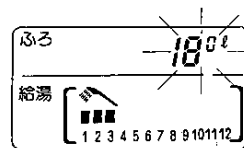
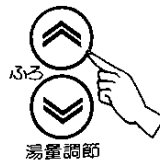
- ★保温運転は沸き上がってから4時間動作します。
- ★保温の必要がない場合は、もう一度自動スイッチを押してください。

- お湯の温度が下がったら30分毎に自動的にあたためる保温機能がついています。

7 沸かし直し

- ①フロふたを開けて、浴槽の湯量を確認し、
 - 1) お湯を増やしたくない場合は……P21からの操作を行なってください。
 - 2) お湯を増やしたい場合

- フロリモコンのふたを開けてお湯張り湯量調節スイッチで増やしたいお湯張りを決めます。(図の操作と同じです。)

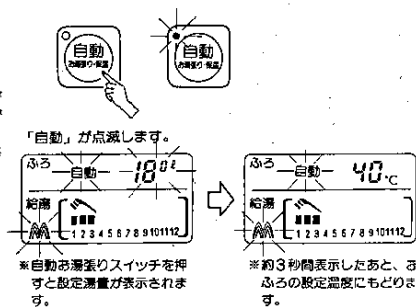


- ※湯量調節スイッチを押すと前回設定した湯量が表示されます。(約3秒間表示した後、風呂の設定温度にもどります。)
- ※湯量設定は40～260ℓまでは20ℓきざみでその他は300ℓ・350ℓ・400ℓで変化します。
- ※設定した湯量を確認したい場合はお湯張り湯量調節スイッチを押すと約3秒間表示され、確認ができます。

●自動スイッチを押します

(メインリモコンでも操作できます。)

- 自動お湯張りスイッチのランプが点灯します。
- しばらくして、お風呂の浴そう金具からお湯が出ます。(このお湯の温度はお風呂の沸き上がり温度の設定温度で出ます。)
- お風呂へのお湯張りの途中は、右図の表示がされます。



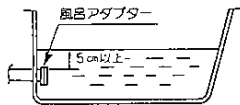
ご注意

お湯の量を確認せずに沸かし直しをおこなった場合、設定湯量より多かたたり、少なかたたりすることがあります。又、おふれることもありますのでご注意ください。

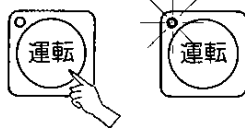
使用方法・風呂(追いだし)

浴槽に水が(湯が)入っているか確認してください。
浴槽にフタをしてください。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます



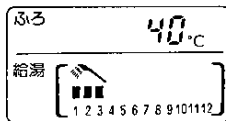
浴槽の湯(水)が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。



●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して、「運転」状態にします。

2 お風呂の沸き上がり温度を調節します

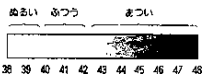
●右図が表示されます。はじめは、40℃に設定されてあります。



湯温調節



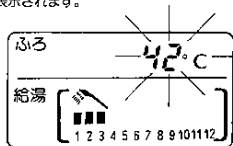
お湯の温度には個人差があります。
この表はだいたいの目安です。



●風呂リモコンのふたを開けて、図のように「ふる」と書いてあるほうの湯温調節スイッチでお好みの沸き上がり温度を決めます。

●設定温度は38℃～48℃の1℃きざみで一度押すと、1℃ずつ変化します。押し続けると連続で表示が変わります。(温度表示は目安です)

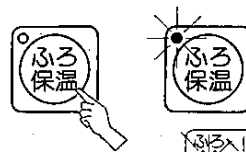
●風呂リモコンの表示画面の「ふる」側に、設定した温度が表示されます。



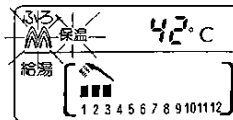
★お風呂の沸き上がり温度を決めてから、続いて「給湯(シャワー・台所・洗面所)」などのお湯の温度を決めるときは、14ページの温度の設定の項をごらんください。

使用方法・風呂(追いだし)

3 保温スイッチを押します

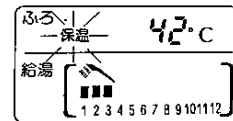


- 保温スイッチのランプが点灯します。
- お風呂沸かしがはじまりました。
- お風呂沸かしの途中は、右図の表示がされます。



4 お風呂が沸くと自動でストップします

- 表示された温度にお風呂が沸き上がると、自動的にストップし、保温準備になります。
- 沸き上がったら、右図の表示がされます。保温スイッチのランプは保温中(4時間)は消えませんが。



5 お湯の温度が下がったら、自動であたためます

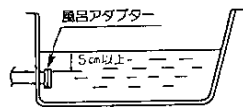
- お湯の温度が下がったら、30分毎に自動的に暖める、保温機能がついています。保温スイッチを入れてから4時間はたります。

★お風呂沸かしの途中に給湯を使用しますと、お風呂沸かしは一時中断します。

使用方法・「あったか」機能

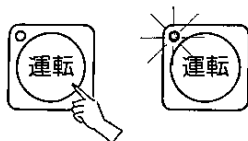
- 風呂リモコンのスイッチひとつで、お湯がけんの設定をしながら「ちよつとあつめ」のお風呂が楽しめます。
- また入浴時など湯がぬるくなつたときの追いだきに使用します。
- ★浴槽に湯が(水が)入っているか確認してください。

※自動運転中は「あったか」は使用できません。「保温」の表示であれば使用できます。



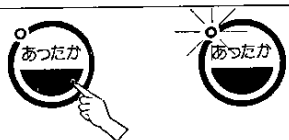
浴槽の湯(水)が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

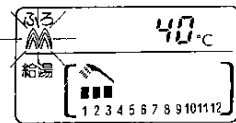


●運転ランプが点灯していないときには、運転スイッチを押して、「運転」状態にします。

2 「あったか」スイッチを押します



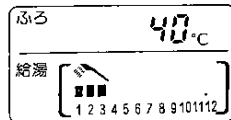
- あったかスイッチのランプが点灯して、お風呂の追いだきをします。
- 右側の画面は、あったか機能がはたらいている状態です。



3 「あったかめ」のお風呂になったら、ランプは消えます

- スイッチを押すと、設定温度より約2度お湯の温度が上がり、自動的にとまります。
- 途中で消したい場合はもう一度あったかスイッチを押してください。ランプが消えます。

※終了後はかくはんのためポンプが約30秒回りします。



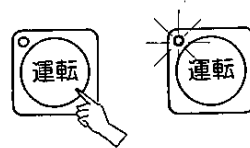
★お風呂洗かしの途中に給湯を使用しますと、お風呂洗かしは一時中断します。

使用方法・「たっぷり」機能

- スイッチひとつで「たっぷりめ」のお風呂が楽しめます。

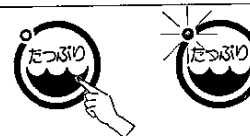
※自動運転中は「たっぷり」は使用できません。「保温」の表示であれば使用できます。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

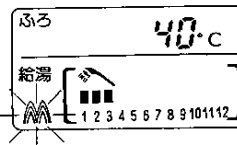


●運転ランプが点灯していないときには、運転スイッチを押して、運転状態にします。

2 「たっぷり」スイッチを押します

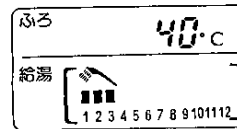


- リモコンの「ふる」側に表示された温度のお湯を足しはじめます。
- 右の画面では、お湯を足しているときの表示です。
- 「たっぷり」運転中に給湯を使用しますと、ふる設定温度のお湯がでます。



3 「たっぷりめ」のお湯になったら、表示が消えます

- スイッチを押してから、約20リットルのお湯が増え、自動的にとまり表示が消えます。
- ★途中でとめたい場合は、もう一度たっぷりスイッチを押してください。その時点で足し湯がとまり表示が消えます。



※例えば1.5人用浴槽では約5cm水位が増えます。

※終了後はかくはんのためポンプが約30秒回りします。

★「たっぷり」運転中に給湯を台所等で使用しますと、ふる設定温度のお湯がでます。

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

●凍結予防ヒーターによる方法

- この器具は、外気温がさがってくると自動的に凍結予防ヒーターが器具内を保温します。
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。
- 配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材が巻つけられているのをご確認ください。

●ポンプ自動運転

- この器具には外気温がさがってくると自動的にポンプが運転し凍結を予防する装置を組み込んでいます。(浴槽の残り湯は捨てないでそのままにしておいてください。)
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。

●通水による方法

- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ線の凍結予防もできます。
- ①運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんをしめる。(電源プラグは抜かないでください)
- ②給湯せんをあけ1分間に約200cc以上(牛乳ビン1本ぐらい)(特に寒い日は多目)を流してください。
- 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい毎にもう一度流量をご確認ください。

●器具内の水を抜く方法

入浴前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

※ふろ側から先に水抜きを行なってください。

〔ふろ側〕

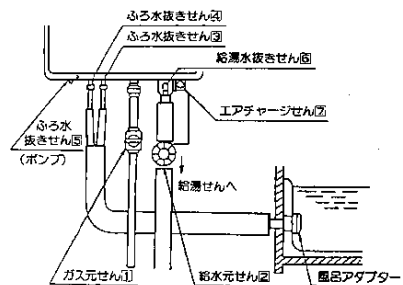
- ①浴そうの水を排水する。
- ②リモコンの運転スイッチを押し運転ランプ点灯後、あつたガススイッチを押し、風呂アダプターのフィルターセットより水が出ることを確認。5分そのままにする。
- ③上記の排水の完了を確認後、運転スイッチを押し、運転ランプの消灯を確認する。
- ④ガスの元せん口をしめる。
- ⑤ポンプ水抜きせん回をあける。

※ふろ側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流し込まないでください。

〔給湯側〕

- ①リモコンの運転スイッチを「入」にする。
- ②ガスの元せん口をしめてあるのを確認する。
- ③給湯水抜きせん回をしめる。
- ④すべての給湯せんを全開にする。
- ⑤給湯水抜きせん回、エアチャージせん回を左にまわしてあける。
- ⑥リモコンの自動スイッチを押し1分程度そのままにした後、自動スイッチを「切」にし、その後運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。

●以上の操作で器具内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



●再使用する場合

- 再使用されるときは、次の方法で行なってください。
- ※給湯器より先に行なってください。

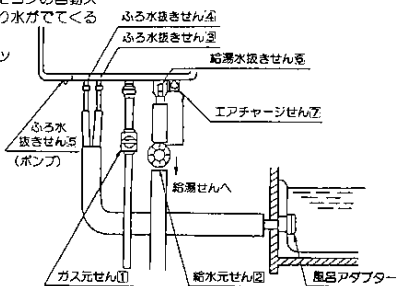
〔給湯機〕

- ①給湯水抜きせん図、エアチャージせん図およびすべての給湯せんをしめる。
- ②給水元せん図をあけ、すべての給湯せんから水がでるのを確認する。

〔ふろ側〕…ポンプの呼び水をしませず。

- ①ふろ水抜きせん図をあけ、ふろ水抜きせん図をしめる。
- ②ガスの元せん図をあけ、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ③リモコンの運転スイッチを「入」にし、次にリモコンの自動スイッチを押ししばらくしてふろ水抜きせん図より水がでることを確認する。
- ④ふろ水抜きせん図をしめ、リモコンの自動スイッチを切る。

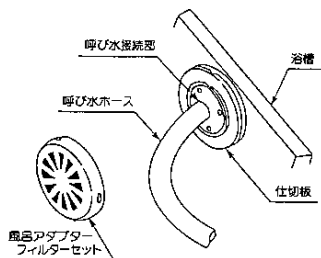
- 以上の操作を行ってからご使用ください。



ご注意
●凍結したまま使用しないでください。
●凍結による修理は保証期間内でも有料です。

ポンプへの呼び水のしかたは次の方法でも可能です

- ①ふろ水抜きせん（1箇所）を右に回して閉めます。（閉まっているのを確認します。）
 - ②浴槽内風呂アダプターのフィルターセットを左に回して外し、呼び水接続部にホースを当て十分に水を入れてください。（仕切板の間隙から水が出てくれれば充分です。）
- ※呼び水が終わったあとはフィルターセットを右に回して取り付けてください。



現場施工の状況により、「凍結予防ヒーターによる方法」や「水抜きによる方法」では、配管・バルブ類の凍結防止はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

●点検・お手入れの際のご注意

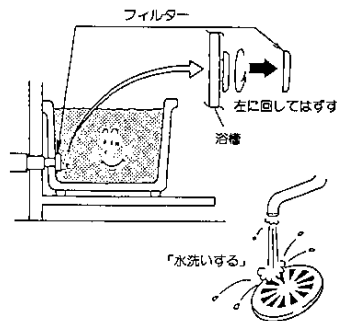
- 器具を安全に、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- 点検・手入れの際には、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- 器具及びリモコンはカバーを開けないでください。（故障の原因になりますので絶対に分解しないでください。）

●点検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、虫類など燃えやすいものを置いていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

●お手入れ

- 外殻の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）
- 風呂アダプターのフィルターの掃除
浴槽内のフィルターを外し、月に1回程程度掃除してください。
※なおフィルターの掃除をしたあとは必ずもとのように取り付けてください。
※元の状態に取付けられていない場合は故障の原因になります。



故障かな?と思ったら

リモコンの掃除

- リモコンの表面が汚れた時は、十分水を絞った布で拭いてください。(かわいた布で拭いた場合、液晶部が乱れることがあります)が故障ではありません。放置しておきますともとの状態に戻ります。



- リモコンの掃除にはベンジンや油系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。



点検お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯せんを開いて器具が正常に作動しているが確認してください。
万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2~3年に1回くらいバーナや各部の作動が「正常」かどうか定期点検をするのが、安全で長期の使用に役立つための「ひけつ」です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご相談ください。(有償)

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へ連絡してください。

現象	原因								処置方法	お 密 さ ま	販 売 店 ま た は 大 阪 ガ ス 支 社				
	電源プラグが抜けている	ガス元栓が閉まっている	給湯元栓が閉まっている	配管内に空気が残っている	水フィルターの詰まり	断水している	凍結している	給気口・バーナ炎口・熱交換器・ノズルの目づまり				安全装置が作動	電気部品の故障	停電	風呂リモコンの優先スイッチの「入」「切」が適切でない
電源プラグが抜けている	○	○											プラグをコンセントに差し込む	*	
ガス元栓の開き不十分		○	○	○									ガス元栓を全開にする	*	
給湯元栓の開き不十分			○	○									給湯元栓を全開にする	*	
配管内に空気が残っている		○	○										点火操作を繰り返す	*	
水フィルターの詰まり		○	○		○	○							詰まりを除去する	*	
断水している									○				給湯使用をいったん中止する	*	
凍結している			○						○				解凍するまで使用を中止する	*	
給気口・バーナ炎口・熱交換器・ノズルの目づまり		○	○	○					○	○			点検を依頼する	*	
安全装置が作動			○	○					○	○			点検を依頼する (度々作動する場合)	*	
電気部品の故障		○	○	○	○	○			○	○			点検を依頼する	*	
停電	○	○	○						○	○			再通電するまで待つ	*	
風呂リモコンの優先スイッチの「入」「切」が適切でない											○	○	風呂リモコンの優先スイッチの「入」「切」を正しく戻し、湯量調節スイッチで好みの温度にする	*	

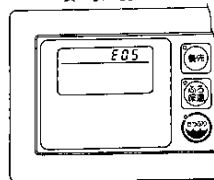
処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

●OKモニターの表示をお調べください。

この器具は60分以上連続給湯又は90分以上連続追い焚きすると、燃焼が停止し、OKモニター「EGS」、「EGH」を表示します。この時は、いったん運転スイッチを切り、数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。

表示例



表示	内容	処置
EO1	給湯入水温度センサー系統の不具合	*
EO2	給湯出湯温度センサー系統の不具合	*
EO3	給湯側炎(燃焼)検出系統の不具合	*
EO5	給湯60分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がでなければ正常です。
EO6	給湯側炎(燃焼)検出系統の不具合	*
EO7	ファン回転検出系統の不具合	*
EO9	ふろ循環温度センサー系統の不具合	*
EOC	ふろ呼び水の不足	呼び水をする(27ページ参照)
EOE	ふろ側炎(燃焼)検出系統の不具合	*
EOF	ふろお湯張り系統の不具合	*
E27		
EOH	ふろ90分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がでなければ正常です。
EOI	ふろ側炎(燃焼)検出系統の不具合	*
E2C	水量センサー異常	*
U3H	リモコン系統の不具合	*
U3L		
U3P		

(ご注意)

*印又は不明な場合はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス社に表示をご連絡ください。

故障かな?と思ったら

●次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
給湯せいを絞りすぎて水になつた	この器具は流水量が2.8ℓ/min以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯せいをもっと開いて出湯量を増やすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで高圧に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイター等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気口から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
冬期など寒いときポンプが自動的に動く	凍結防止のため、ポンプの自動運転を行います。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約3分間は回転しています。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
かくはんのためポンプが回る	「あつたか」運転終了後、かくはんのためポンプが約30秒間回ります。
表示画面(液晶)が乱れている	リモコンをかいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。この場合放置(30分以上)しておくともどります。
保温中ときどきポンプが回る	浴そうのお湯の温度を検知するため30分毎に回ります。

●安全装置の種類とその働き

- 次の安全装置が作動した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてお買い求めの販売店または大阪ガス社にご連絡ください。
 - 立消え安全装置……バーナが正常に燃焼しない時、作動し、ガスを自動的にストップします。
 - 空だき安全装置……熱交換器が万一空だきした時に作動し燃焼を自動的にストップします。
 - 過熱防止装置……器具内部の筒内気温が異常に高くなった時、作動し燃焼を自動的にストップします。
 - 漏電安全装置……万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。

仕様

寸法図

商品の呼び		31-505型			
型式の呼び		都市ガス 13A GT-164SAWS LPガス NR-GT-164SAWS			
種類	設置方式	屋外設置型			
	給湯方式	先止め式			
点火	方式	電子イグナイターによるダイレクト点火			
	使用水圧	1.0~10kg/cm ²			
水圧	作動水圧	0.15kg/cm ²			
	最低作動流量	2.8ℓ/分			
外形寸法		高さ615mm×幅470mm×奥行180mm			
重量(本体)		27kg			
接続	給水	R ¹ / ₂			
	給湯	R ¹ / ₂			
	風呂	R ¹ / ₂			
続ガス	都市ガス用	R ¹ / ₂			
	LPガス用	R ¹ / ₂			
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)			
	消費電力	130/160W(凍結予防ヒータ 162W)			
安全装置		空だき安全装置、立消え安全装置、過圧防止安全装置、凍結予防装置(凍結予防ヒーター、水抜きせき)、漏電安全装置、過熱防止装置			
使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量		出湯能力(能力大) (ℓ/分)		
		(最大消費量) (Kcal/h)	上昇温度		
	給湯側	風呂側	25℃	40℃	
都市ガス13A	30.000	10.000	16.0	10.0	
LPガス	2.5kg/h	0.83kg/h	16.0	10.0	

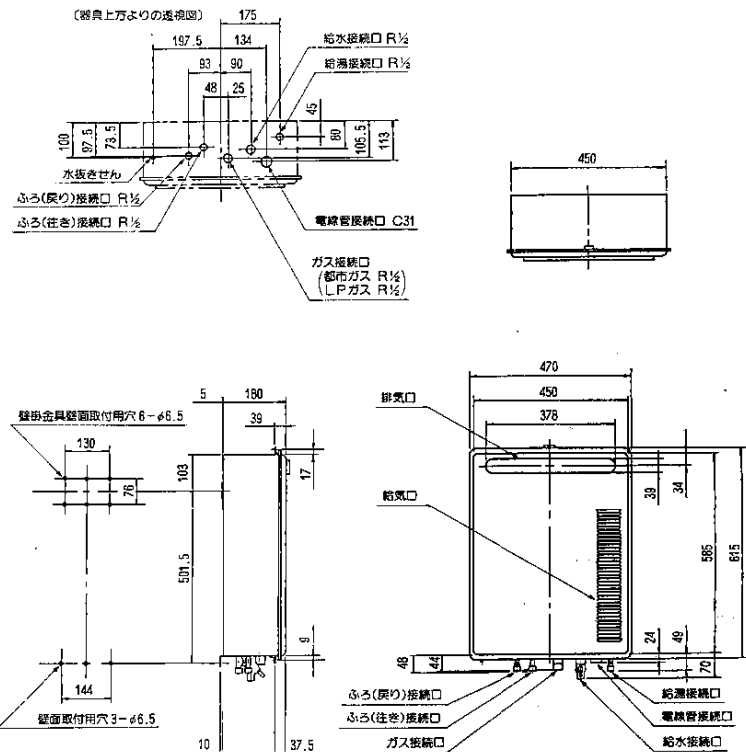
●ご注意
給湯・風呂の同時使用はできません。

- ◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。
- ◎出湯能力は計算値です。
- ◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

●器具本体

●31-505型

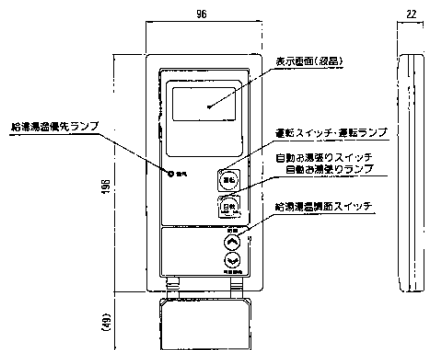
(単位：mm)



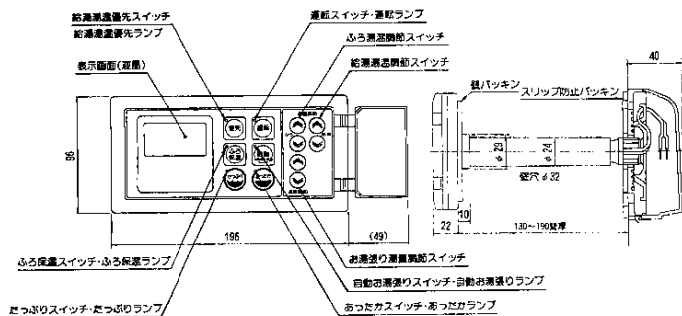
寸法図

●メインリモコン

(単位：mm)



●風呂リモコン



保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1)ガスの元せいを閉じる。
 - (2)給水元せいを閉じる。
 - (3)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は26ページを参照してください。)
 - (4)電源プラグを抜く。

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- まず「故障かな?と思うなら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス社にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
 2. 屋名……31-505型(右のようなラベルを器具の正面に貼付けてあります)
 3. 現象……できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(例)

(N)31-505(W)

大阪ガス株式会社 (00)

転居される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。
- この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
- ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証について

- このガス風呂給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス風呂給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
- その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。



メモ欄

メモ欄